

急増する自宅療養・自宅待機者への対応

① 保健所の初回連絡まで
診断した医療機関でフォロー



② 24時間見守り体制

- ・地区医師会
- ・往診専門医
- ・在宅専門診療所
- ・訪問看護



自宅療養者・
待機者



④ 入院が必要な際の
ホットライン確保

③ 重症化予防に必要な診断治療機器・治療薬の拡充

- ・パルスオキシメーター、酸素濃縮装置
- ・抗体カクテル療法
- ・現状で重症化予防が期待できる治療薬(イベルメクチン等)の緊急使用



WHOがアフリカで熱帯病を撲滅するために、イベルメクチンを投与してきた国と投与しなかった国でのコロナ感染症数と死亡者数の比較
(2021年5月16日現在、いずれもWHOの統計から算出)

イベルメクチンを住民に投与してきた国(32カ国)の
コロナ感染症結果(人口は国連人口基金)

	感染者数		死者数	
	累計	10万人当り	累計	10万人当り
32か国総人口				
9億5300万人	128万人	134.4人	2万1259人	2.2人

イベルメクチンを投与していない国(22カ国)

	感染者数		死者数	
	累計	10万人当り	累計	10万人当り
22か国総人口				
3億5,800万人	340万3,086人	950.6人	10万4,826人	29.3人

明確な出口戦略の提示を

- ①幅広く人流を抑えるのであれば
全国的な緊急事態宣言発出の他、
新たな効果的と思われる対策を追加
- ②重症者の多くを占める40代・50代の感染拡大防止対策
 - ・最優先でワクチン接種を行う
 - ・接触防止のためテレワーク・直行直帰の徹底
 - ・感染予防対策の徹底の働きかけ
(特に持病がある方、肥満(BMI30以上)、喫煙者)
 - ・40～64歳までをターゲットに(夜間滞留人口の抑制)